

安全データシート

整理番号 【800-1】

制定日 2020/10/13

改訂日 2021/03/10

1. 製品および会社情報

製品

製品名 サラヤ環境清拭クロスPREMIUM CLEANING
(液剤について)

供給者情報

会社 サラヤ株式会社
住所 大阪府大阪市東住吉区湯里2-2-8
担当部門 営業本部
電話番号 06-6797-2525
緊急時連絡番号 06-6705-1013

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分1
皮膚感作性 : 区分1
生殖毒性 : 区分外
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分1 (呼吸器系)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分2
急性毒性 (経口) : 区分4 飲み込むと有害
急性毒性 (経皮) : 区分外
急性毒性 (吸入:ガス) : 分類対象外
環境に対する有害性 水生環境有害性 (急性) 区分3
水生環境有害性 (長期間) 区分外
水生環境有害性, 急性水生毒性区分1
水生環境有害性, 慢性水生毒性区分1

GHSのラベル要素

絵表示又はシンボル: 感嘆符、健康有害性、腐食性、環境

注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 飲み込むと有害/アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

重篤な皮膚の損傷/薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷/臓器（呼吸器系）の障害
長期又は反復暴露による臓器の障害のおそれ
水生生物に有害

注意書き：

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
屋外又は換気のよい場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】

皮膚（または髪）に付着した場合：
直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
皮膚を流水で洗うこと。
吸入した場合：
空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：
水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は
外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当を受けること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断、手当を受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
火災の場合：消火するために、5. 火災時の措置を参考のこと。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置くこと。施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物／容器を自治体のルールに従い廃棄すること。

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分：第四級アンモニウム塩、界面活性剤、アルカリ剤

4. 応急処置

吸入した場合：直ちに患者を空気の新鮮な場所に移し、安静にする。

ひどい場合は直ちに医師の手当を受ける。

皮膚についた場合：水で洗い流す。刺激を感じたときは、医師に相談する。

眼に入った場合：すぐに水またはぬるま湯で洗う。

症状が重い場合には眼科医の手当を受ける。

飲み込んだ場合：水を飲ませて、医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：水、粉末、炭酸ガス、泡

火災時の特定危険有害性：少量の水での消火は、火災を拡大させる恐れがある。

消火方法：初期火災には、大量の水を噴霧、又は上記の消火器による消火を行う。

大規模火災発生時は、大量の水を噴霧または泡消化剤による空気遮断にて消火を行う。

消火を行う者の保護：防災耐熱性保護具、マスク等

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：

保護眼鏡、ゴム手袋等を着用し、接触および吸入を避けること。

環境に対する注意事項：

少量の場合は、こぼれた場所を速やかに大量の水で洗い流す。

大量の場合は、漏出液を密閉式の空容器にできるだけ回収し、

回収できなかった場所へは大量の水で洗い流す。

二次災害の防止策：浸透性及び揮発性があるので、付近の着火源となるものは速やかに取り除く。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：乾燥を避けるためにご使用後はフタをしっかりと閉めてください。

材質・塗装の種類によっては表面が変色・変質することがありますので、

目立たない部分で試してから使用してください。

機器などにご使用の時は機器付属の「取扱説明書」をご覧ください。

目、顔など人体や食品・食器には使用しないでください。

使用時は手袋を着用してください。

不織布は水に溶けませんので、トイレに流さないでください。

用途以外に使用しないでください。

使用している不織布の性質上、経時的に不織布が変色することがありますが、

使用上問題ありません。

保管

安全な容器包装材料：

高温の場所及び直射日光を避け、清潔な場所に保管してください。
こどもや認知症の方の手の届かない所に保管してください。

8. 暴露防止措置および保護措置

設備対策：取り扱いについては、火気のない換気のよい場所で行う。

管理濃度：管理濃度なし

許容濃度：設定されていない

保護具：必要に応じて防毒マスク、保護眼鏡、ゴム手袋、ゴム前掛け、安全靴を使用する。

9. 物理的および化学的性質

外観：無色透明（液体）

臭い：原料臭

pH：11.8～12.2（原液）

比重：0.997～1.003（20℃）

10. 安定性および反応性

安定性：常温においては安定である。

11. 有害情報

皮膚腐食性/刺激性：区分1

眼に対する重篤な損傷/刺激性：区分1

呼吸器感作性/皮膚感作性：区分1

変異原性：区分外

生殖毒性：区分外

特定標的臓器/全身毒性－単回暴露：区分1（呼吸器系）

特定標的臓器/全身毒性－反復暴露：区分2（中枢神経系）

12. 環境影響情報

生態毒性：情報なし

魚毒性：情報なし

残留性・分解性：情報なし

生体蓄積性：情報なし

土壤中の移動性：情報なし

環境庁が内分泌錯乱物質（いわゆる環境ホルモン）と位置づけた指定物質は一切配合していない。

13. 廃棄上の注意

「7. 取り扱いおよび保管上の注意」の項を参照のこと

残余廃棄物：廃棄物処理業者に処理を依頼する。

使用済容器：管轄自治体のルールに従い、処理する。

14. 輸送上の注意

「7. 取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと

国際規制

国連分類：該当無し。

国連番号：該当無し。

輸送の特定の安全対策及び条件：

運搬する場合には、飛散、流出又は浸出を防ぐのに必要な措置を講じなければならない。

15. 適応法令

労働安全衛生法（安衛法）：通知対象物質に該当しない。

化学物質管理促進法（P R T R法）：該当しない。

航空法：該当しない。

毒物及び劇物取締法：該当しない。

消防法：該当しない

医薬品医療機器等法：該当しない。

食品衛生法：該当しない。

16. その他の情報

・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。

- 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
 - 注意事項は通常取り扱いを対象としたものですが、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
 - すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。
-